

平成28年 3 月期 第 2 四半期決算説明会

平成27年11月

株式会社N F Kホールディングス
東京証券取引所 J A S D A Q
証券コード：6494

目

次

- I 平成28年3月期 第2四半期（累計期間）決算概要
- II 平成28年3月期 通期業績の見通し

＜参考資料＞

I 平成28年3月期 第2四半期（累計期間）決算概要

I 平成28年3月期 第2四半期 決算概要 決算総括

★決算総括

- 原油価格の急激な変動により原油・天然ガス関連の案件を中心に延期・中止となる案件が発生
- 好調な輸出関連企業を中心に国内需要に回復の兆し
- 厳しい上期の状況を反映して通期予想を下方修正
- 配当についても誠に遺憾ながら無配へ

I 平成28年3月期 第2四半期 決算概要 連結損益計算書

(単位：千円)

	平成27年3月期 第2四半期 (累計)	平成28年3月期 第2四半期 (累計)	前年同四半期比 増減額	前年同四半期比 増減率
売上高	1,410,188	886,310	△523,878	△37.1%
売上総利益	299,766	190,224	△109,542	△36.5%
販売費及び 一般管理費	342,833	323,571	△19,262	△5.6%
営業損失	△43,066	△133,346	△90,280	—
経常損失	△45,420	△133,770	△88,350	—
税金等調整前四半 期純損失	△44,162	△133,056	△88,894	—
四半期純損失	△61,242	△137,837	△76,595	—
四半期包括損失	△62,070	△157,253	△95,183	—
EBITDA	△28,808	△121,131	△92,323	—

※EBITDA=(経常損失△133,770+支払利息126+減価償却費12,513+のれん償却費0)

I 平成28年3月期 第2四半期 決算概要 売上高増減の内容 案件規模別

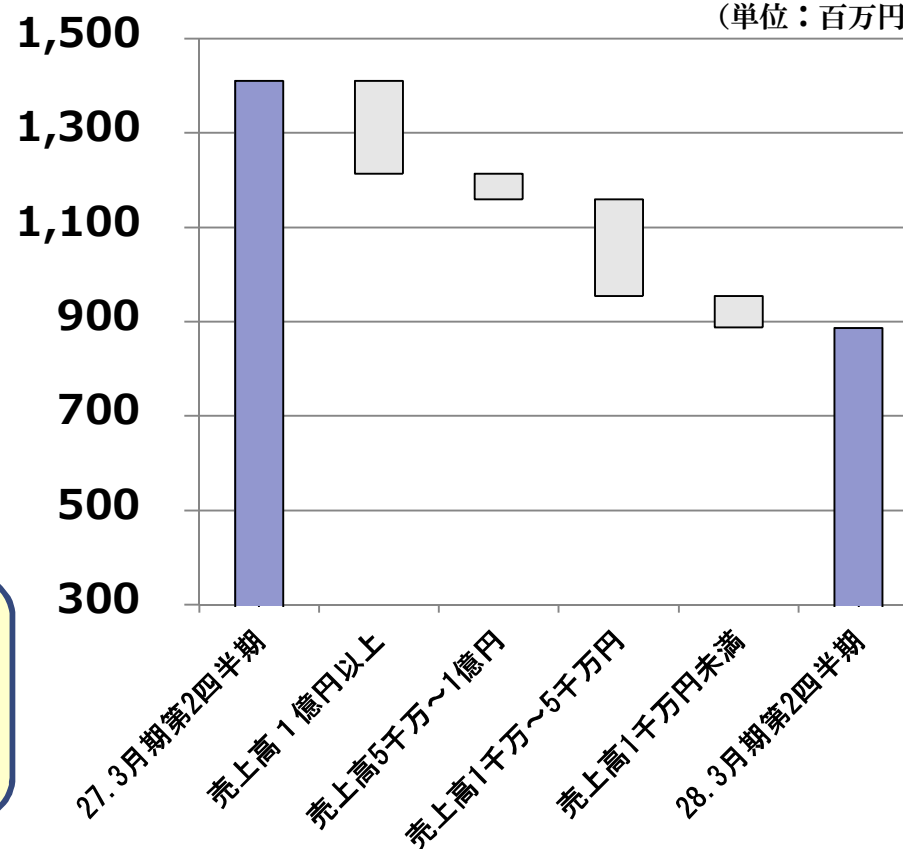
(単位：千円)

	平成27年3月期 第2四半期 (累計)	平成28年3月期 第2四半期 (累計)	前年同四半期比 増減額	前年同四半期比 増減率
売上高	1,410,188	886,310	△523,878	△37.1%

(単位：千円)

	売上高
平成27年3月期第2四半期実績	1,410,188
売上高1億円以上の案件増減分	△197,700
売上高5千万円以上の案件増減分	△54,000
売上高1千万円以上の案件増減分	△205,813
売上高1千万円未満の案件増減分	△66,363
平成28年3月期第2四半期実績	886,310

(単位：百万円)



・ 案件規模に関係なく全般的に厳しい状況

I 平成28年3月期 第2四半期 決算概要 売上高増減の内容 部門別

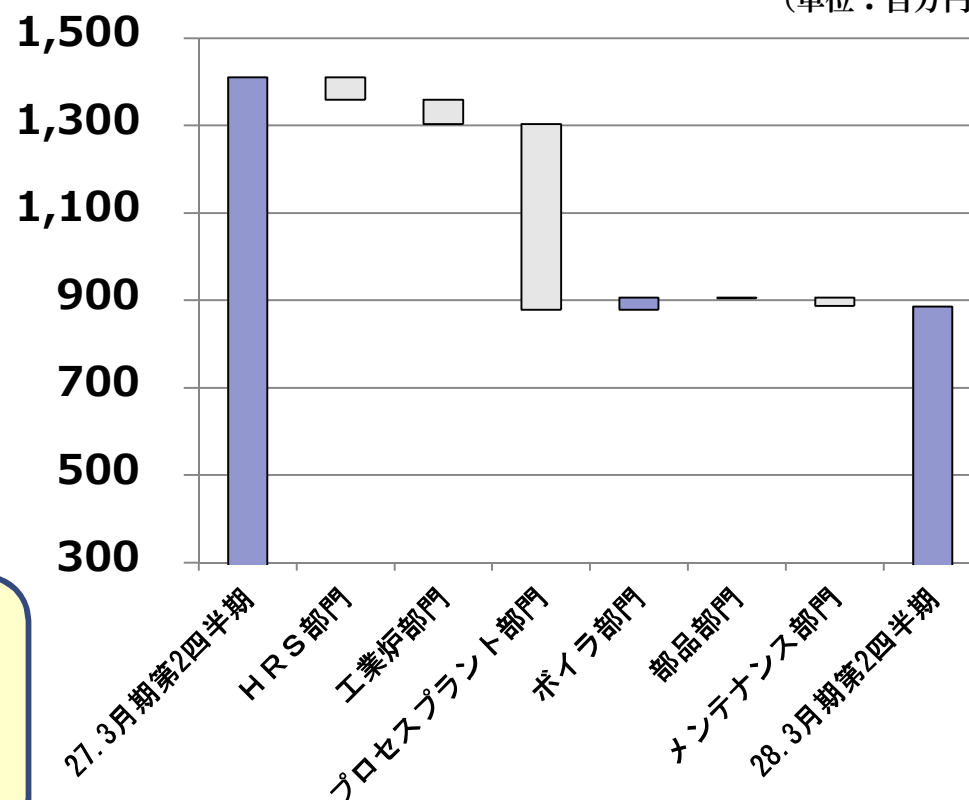
(単位：千円)

	平成27年3月期 第2四半期 (累計)	平成28年3月期 第2四半期 (累計)	前年同四半期比 増減額	前年同四半期比 増減率
売上高	1,410,188	886,310	△523,878	△37.1%

(単位：千円)

	売上高増減
平成27年3月期第2四半期実績	1,410,188
HRS部門	△50,975
工業炉部門	△56,699
プロセスプラント部門	△425,464
ボイラ部門	28,550
部品部門	140
メンテナンス部門	△19,430
平成28年3月期第2四半期実績	886,310

(単位：百万円)



- ・ 大型案件の落ち込みの影響を受けたプロセスプラント部門が大幅減

I 平成28年3月期 第2四半期 決算概要 営業利益減少の内容

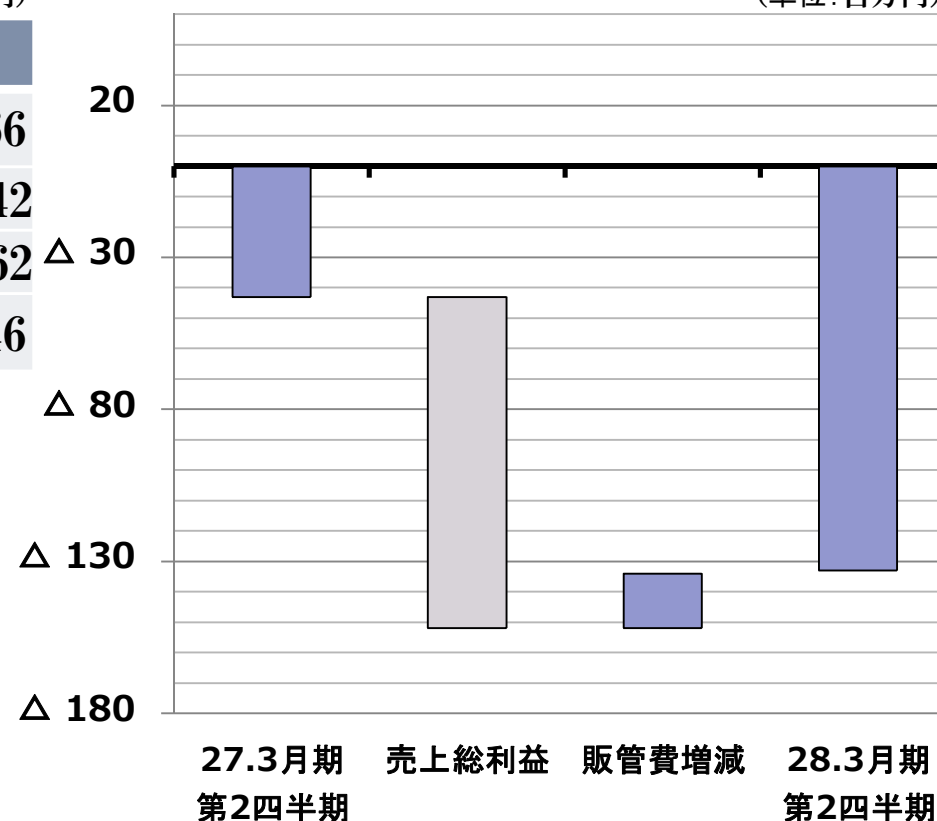
(単位：千円)

	平成27年3月期 第2四半期 (累計)	平成28年3月期 第2四半期 (累計)	前年同四半期比 増減額	前年同四半期比 増減率
営業損失	△43,066	△133,346	△90,280	—

(単位：千円)

	営業利益(損失)
平成27年3月期第2四半期実績	△43,066
売上総利益の減少	△109,542
販売費及び一般管理費の減少	19,262
平成28年3月期第2四半期実績	△133,346

(単位：百万円)



- ・ 売上高大幅減による売上総利益の減少
- ・ 売上高減少に伴い、販売費及び一般管理費も縮小

I 平成28年3月期 第2四半期 決算概要 連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	平成27年3月期末	平成28年3月期 第2四半期 (累計)	増減額
流動資産	3,125,867	2,786,208	△339,659
固定資産	1,157,598	1,131,567	△26,031
資産合計	4,283,466	3,917,775	△365,691
流動負債	789,785	622,616	△167,169
固定負債	418,901	408,349	△10,552
負債合計	1,208,686	1,030,966	△177,720
資本金	2,131,532	2,131,532	—
資本剰余金	40,280	40,280	—
利益剰余金	454,169	285,619	△168,550
自己株式	△206	△210	△4
株主資本合計	2,625,775	2,457,221	△168,554
その他の包括利 益累計額合計	449,004	429,587	△19,417
純資産合計	3,074,779	2,886,809	△187,970
負債純資産合計	4,283,466	3,917,775	△365,691

【流動資産】	○ 内は前期末比増減
現金・預金	1,631百万円 (△118百万円)
受取手形・売掛金	786百万円 (△220百万円)
仕掛品	150百万円 (+ 28百万円)
繰延税金資産	
【固定資産】	
土地・建物等	796百万円 (△ 4百万円)
投資有価証券	105百万円 (△ 21百万円)
【流動負債】	
支払手形・買掛金	269百万円 (△240百万円)
短期借入金	18百万円 (△ 2百万円)
前受金	31百万円 (△ 10百万円)
未払法人税等	8百万円 (△ 4百万円)
【固定負債】	
再評価に係る繰延税金負債	207百万円 (± 0 円)
退職給付に係る負債	178百万円 (△ 10百万円)

財務指標

	平成27年3月期 期末	平成28年3月期 第2四半期
自己資本比率	71.8%	73.7%
有利子負債	36百万円	18百万円

I 平成28年3月期 第2四半期 決算概要 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	平成27年3月期 第2四半期 (累計)	平成28年3月期 第2四半期 (累計)	前年同四半期 比増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	533,548	△80,494	△614,042
投資活動による キャッシュ・フロー	△109,176	△7,585	101,591
財務活動による キャッシュ・フロー	△385,456	△28,416	357,040
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△2,280	△2,252	28
現金及び現金同等物の 増減額	36,635	△118,748	△155,383
現金及び現金同等物の 期首残高	1,764,367	1,750,130	△14,237
現金及び現金同等物の 四半期末残高	1,801,003	1,631,381	△169,622

【営業活動によるキャッシュ・フロー】

税引前当四半期純損失	133百万円 (△)
仕入債務減少	240百万円 (△)
売上債権の減少	220百万円 (+)
たな卸資産の増加	17百万円 (△)
前受金の減少	10百万円 (△)
減価償却費	12百万円 (+)
法人税等の支払額	10百万円 (△)

【投資活動によるキャッシュ・フロー】

定期預金の増加	1百万円 (△)
有形固定資産取得支出	5百万円 (△)
保険積立金解約収入	1百万円 (+)

【財務活動によるキャッシュ・フロー】

短期借入金の増加	2百万円 (+)
配当金の支払額	30百万円 (△)

I 平成28年3月期 第2四半期 決算概要 部門別売上高

(単位：千円)

	平成27年3月期 第2四半期（累計）		平成28年3月期 第2四半期（累計）		前年同四半期比	
	売上高	構成比	売上高	構成比	金額	増減率
工業炉燃焼装置製造業	1,409,288	99.9%	885,410	99.9%	△523,878	△37.1%
HR S 部門	207,469	14.7%	156,494	17.7%	△50,975	△24.6%
工業炉部門	296,395	21.0%	239,696	27.0%	△56,699	△19.1%
プロセスプラント部門	589,798	41.8%	164,334	18.5%	△425,464	△72.1%
ボイラ部門	58,760	4.2%	87,310	9.9%	28,550	48.6%
部品部門	134,144	9.5%	134,284	15.2%	140	0.1%
メンテナンス部門	122,722	8.7%	103,292	11.7%	△19,430	△15.8%
その他の事業	900	0.1%	900	0.1%	0	－
合 計	1,410,188	100%	886,310	100%	△523,878	△37.1%

I 平成28年3月期 第2四半期 決算概要 部門別受注状況

(単位：千円)

	平成27年3月期 第2四半期 (累計)		平成28年3月期 第2四半期 (累計)		前年同四半期比	
	受注高	受注残	受注高	受注残	受注高増減額	受注残増減額
工業炉燃焼装置製造業	1,473,846	1,240,766	1,039,855	687,275	△433,991	△553,491
H R S 部門	270,414	146,840	225,786	122,672	△44,628	△24,168
工業炉部門	619,258	428,463	284,258	233,588	△335,000	△194,875
プロセスプラント部門	115,294	268,224	196,202	84,378	80,908	△183,846
ボイラ部門	107,387	170,273	102,428	158,064	△4,959	△12,209
部品部門	172,376	73,329	125,045	35,299	△47,331	△38,030
メンテナンス部門	189,117	153,637	106,136	53,274	△82,981	△100,363
その他の事業	—	—	—	—	—	—
合 計	1,473,846	1,240,766	1,039,855	687,275	△433,991	△553,491

Ⅱ 平成28年3月期 通期業績の見通し

Ⅱ 平成28年3月期通期業績の見通し 業績予想（連結）

（単位：百万円）

科 目	平成27年3月期		平成28年3月期	
	第2四半期 累計（実績）	通期 （実績）	第2四半期 累計（実績）	通期 （予想）
売上高	1,410	3,010	886	2,300
営業利益（損失）	△43	86	△133	△50
経常利益（損失）	△45	90	△133	△50
税前当四半期（当期） 純利益（損失）	△44	91	△133	△50
四半期（当期） 純利益（損失）	△61	62	△137	△75
1株当たり四半期（当 期）純利益（損失）	△1.99円	2.04円	△4.49円	△2.44円

厳しい上期の状況を反映して通期予想を下方修正

＜参考資料＞

＜参考資料＞ ～大型案件受注状況について～

【最近の大型案件の状況】

(平成27年11月10日開示)

国内大手製鋼会社様より熱風循環型回転炉の受注。

受注額約3.5億円



【過去の大型案件の状況】

(平成25年1月17日開示)

海外プラント向けに国内大手エンジニアリング会社様より
大型加熱炉の受注。

受注額約 6 億円



(平成25年6月18日開示)

マレーシア向けに日揮株式会社様よりインシネレータの受注。

受注額約10億円



<参考資料> プラントエンジニアリング事業

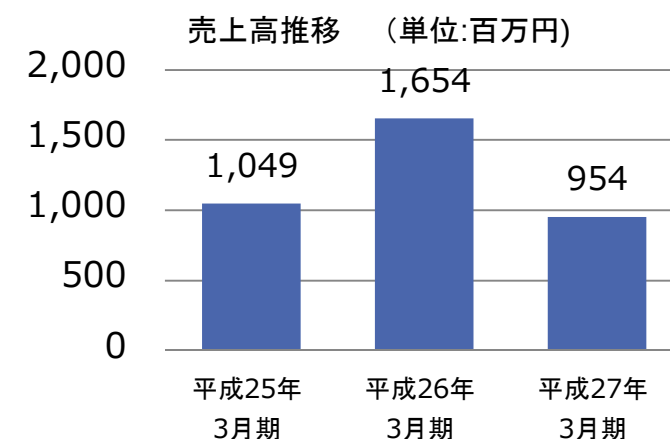
■石油精製、石油化学、窯鋳業等の各種産業プラント用燃焼装置や加熱装置、環境に配慮した焼却設備やプロセス装置、廃液廃ガス焼却装置、また、低NO_x性に優れたロータリーキルン用バーナなどを製造・販売。

【取り扱い製品】

- 加熱炉用バーナ・ロータリーキルン用バーナ
- 熱風発生炉・加熱炉
- 廃液・排ガス・焼却設備・プロセス装置

【納入先】

- セメントメーカー
- 石油関連企業、化学関連企業
- 天然ガス関連企業



Pickup !

■廃液&廃ガス燃焼装置

現在、当社の主力商品となっており、天然ガスプラントや化学工場などで発生する廃ガス&廃液を無害化する環境装置となっている。



＜参考資料＞ 燃焼機事業

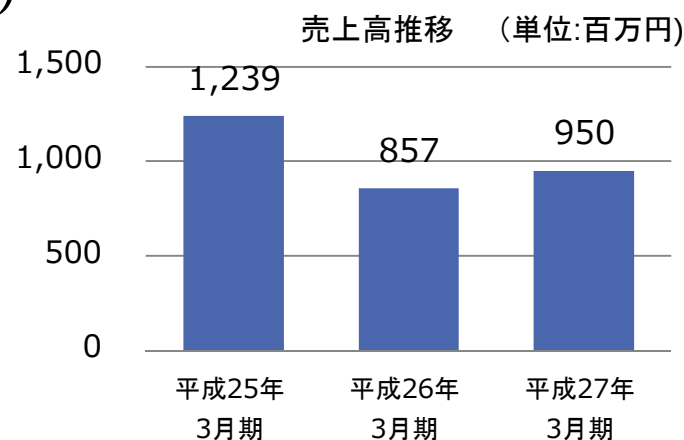
■高効率で低NO_x性に優れたボイラ用バーナ、各種バーナなど、最新の熱技術による製品を設計・製造・販売。

【取り扱い製品】

- ボイラ用バーナ
- ガラスエコマイザー
- ラジアントチューブバーナ

【納入先】

- ボイラメーカー
- 鉄鋼関連企業
- 窯業関連企業



Pickup !

■蓄熱式ラジアントチューブ燃焼システム

高温空気燃焼技術を鉄鋼用熱処理炉など各種熱処理炉に適用可能かつ低NO_xを同時達成。ラジアントチューブ用ハニカム内蔵型リジェネレイティブバーナ。

<参考資料> 工業炉事業

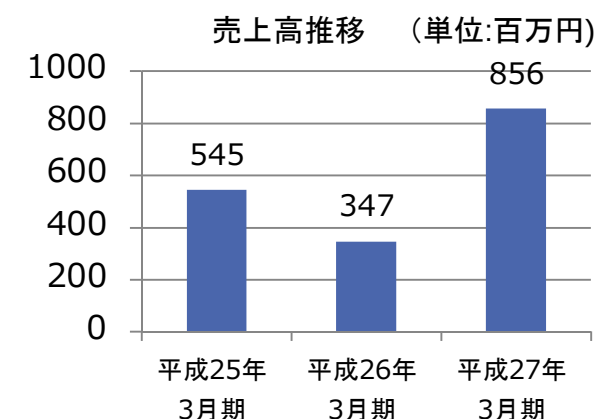
■セラミックハニカム搭載のリジェネレイティブバーナを適用した高性能工業炉を数多く提供。

【取り扱い製品】

- バスケットレス回転炉、各種連続炉
- 各種熱処理炉
- 台車型焼鈍炉

【納入先】

- 自動車メーカー、自動車部品メーカー
- 金属加工企業
- 熱処理関連企業



Pickup !

■バスケットレス回転炉

日本機械工業連合会 優秀省エネルギー機器 『経済産業大臣賞』受賞。バスケットレス化を実現したことにより、従来製品より42%もの省エネ化を実現。

多くの国内自動車メーカーにて採用



＜参考資料＞ 「16 中期経営計画」 基本方針&重点戦略

経営基本方針

1. 燃焼装置関連事業の海外展開強化
2. 市場ニーズに対応した新製品開発
3. 安定配当の実現
4. コンプライアンス、コーポレートガバナンス重視の徹底

海外売上比率50%へ

新技術新商品の創出

国内基盤固め

トータル原価の削減

持続的成長を目指す

<参考資料> 「16 中期経営計画」 基本戦略

海外売上比率50%へ



成長市場をキャッチアップ

- ・ 海外既存顧客に対するフォロー営業の徹底
- ・ ローカルニーズに合致する既存製品の活用
- ・ アジア市場での商流確率
- ・ 個別ニーズへの迅速なローカルフィット対応
- ・ 海外顧客へのサポート体制確立
- ・ 現地ベンダーの確保

海外顧客との信頼関係構築、NFKブランドの普及により中長期的な収益拡大を図る

新技術・新商品の創出



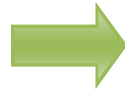
技術のNFKを再確立

- ・ マーケティングを意識した営業活動の徹底
- ・ 新製品開発計画への営業部門による主体的な参加
- ・ 売れる商品開発の徹底
- ・ PDCAサイクルの徹底による商品開発の効率化
- ・ 外部研究機関との積極的な連携

先達が築いた「技術のNFK」の本質に立ち返る

＜参考資料＞ 「16 中期経営計画」 基本戦略

国内基盤固め



国内既存顧客との関係強化によるニーズの把握

- ・ 国内既存顧客に対するフォロー営業の徹底
- ・ 強みのある商品を活かした仕掛ける営業
- ・ ナレッジマネジメント強化による組織対応力の強化
- ・ 業務効率の向上

マーケティング体制構築により新技術・新商品の創出、収益の持続的拡大の基盤を固める

トータル原価の削減



高利益の実現

- ・ 営業活動の効率化による原価低減
- ・ エンジニアリング活動の効率化による原価低減
- ・ 低コストを意識した、仕様や材料の見直し
- ・ 短納期、低コストを意識した新工法・生産技術の確立

トータル原価の削減を実現して高利益を実現する

＜参考資料＞ 「16中期経営計画」 2014～2016年度 業績目標

(単位: 百万円)

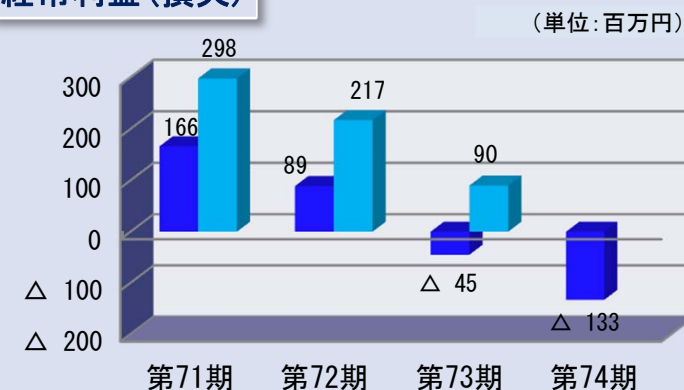
	平成26年 3月期(実績)	平成27年 3月期(計画)	平成28年 3月期(計画)	平成29年 3月期(計画)	16中計期間 増額予定分
売上高	3,171	3,300	4,300	5,000	1,829
対前年増収率	1.6%	4.1%	30.3%	16.3%	57.7%
経常利益	217	250	430	500	283
当期純利益	186	200	350	400	214
純資産	3,029	3,199	3,519	3,859	830
1株利益(円)	6.08	6.51	11.39	13.02	6.94
1株純資産(円)	98.64	104.15	114.57	125.64	27.00
配当(円)	1.00	1.00	2.00	3.00	2.00

<参考資料> 業績推移

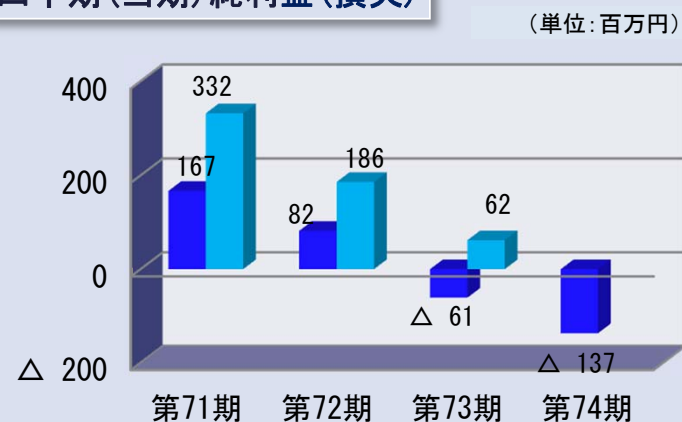
売上高



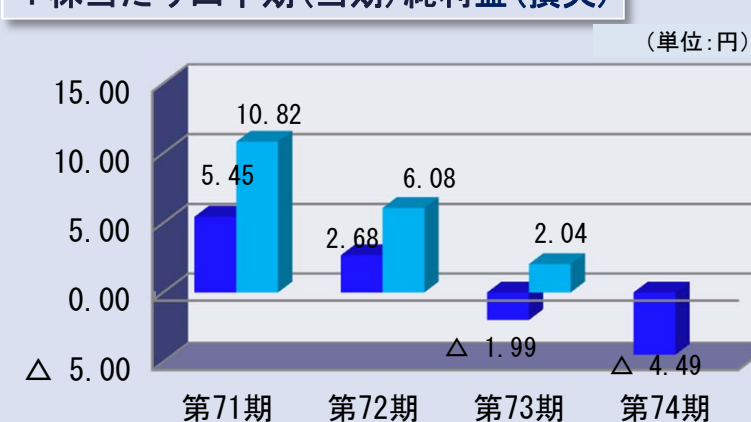
経常利益(損失)



四半期(当期)純利益(損失)



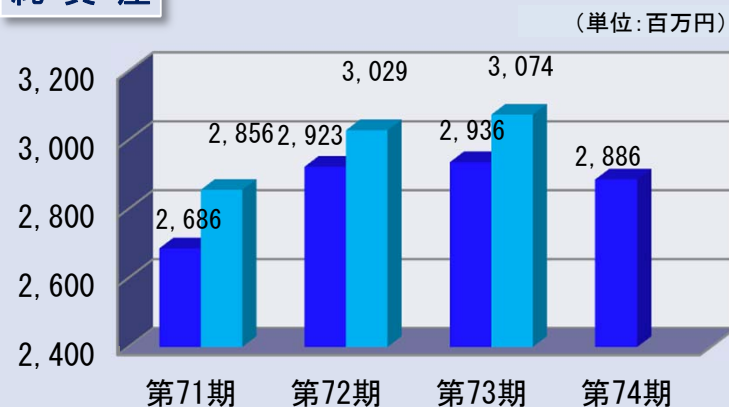
1株当たり四半期(当期)純利益(損失)



■ 第2四半期 ■ 通期

<参考資料> 業績推移

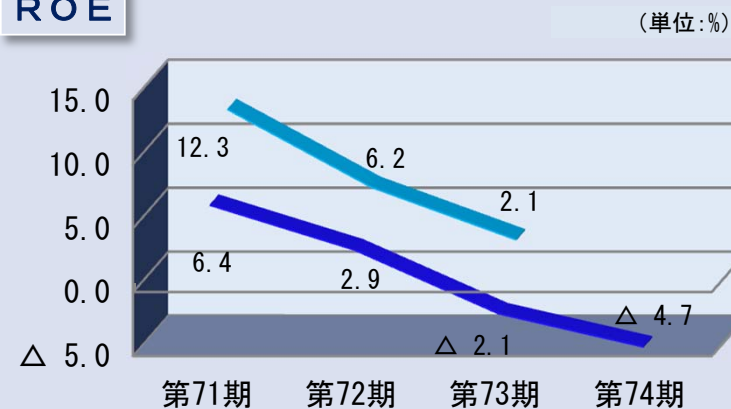
純資産



総資産



ROE



(注)次の通りROEを算出しております。

ROE=当期(四半期)純利益/(平均純資産-新株予約権-少数株主持分)

■ 第2四半期 ■ 通期

本資料に関するお問い合わせ

株式会社NFKホールディングス I R企画室

TEL : 045-575-8000

E-MAIL : ir@nfk-hd.co.jp

★注意事項 本資料に記載されている計画・戦略・見通し及びその他の歴史的事実でないものは、将来に関する見通しであり、これらは現在入手可能な期待・見積り・予想に基づいております。これらの期待・見積り・予想は経済情勢や競争環境の変化等の潜在的なリスク・不確定要素、仮定の影響を受けますので、実際の実績は見通しとは異なる可能性がございます。

また、当社は新しい情報・将来の出来事などに基づきこれらの将来予測を更新する責務を負うものではありません。

